



多大な損害を与えた SNSへの非常識写真 ホールから研修の要請

今年になって、コンビニや飲食店などで勤務中のアルバイト従業員によるツイッターやフェイスブックなどのソーシャルネットワークサービス(以後SNS)へ非常識写真の投稿によるトラブルが相次いで非常に大きな問題となり、休業や閉店に追い込まれた店舗が出る事態にまで発展したケースもあります。

先日あるホールの役職者の方との会話のなかで、自社のホールに勤務するスタッフがこのようなトラブルを起こすのではないかと心配なので、モラル研修会を実施して欲しいとの相談がありました。

SNSへの非常識写真投稿トラブルとは、宅配ピザ店のアルバイト男性がピザ生地を覆った写真を「ピザって息できないんだな」とツイッターに投稿したり、大手コンビニチェーン店のアルバイト男性が売り場のアイスクリーム用冷凍庫の中に入って横に寝そべった様子を友人に撮影させてフ

エイズブックに投稿したりして、これらを見た人が「客が口にする商品の上で寝るなんて!」「衛生管理はどうなっている?」

など、その非常識な行動へ怒りの声があがりネット上でいわゆる「炎上事件」となる事例が相次いで発生して報道されたものです。

報道によると、このコンビニ店はフランチャイズ契約を解除されたとのこと。これらの非常識写真をSNSへアップした従業員が損害賠償請求されたケースもあるそうで、安易な行動が多大な損害を与える危険性があることを教

育しなければいけない時代になって来ているのです。



署名のレシート掲載 賠償と慰謝料の対象 お客様情報の管理を

今年の9月には、ある空港のお土産ショップで某人気俳優がクレジットカードで買い物をした際にクレジットカード用に使った署名入りのレシートが、お土産ショップの店員によって撮影されて「今日お店に〇〇さんが来ました」とレシート写真と一緒にツイッターにアップしたところ、それを見た人から「すぐに画像を削除してください。これは犯罪ですよ」と警告コメントが書き込まれてツイートした写真などを慌てて削除したが、コトの重大性に気がつくのが遅くネット上で大炎上し、多くのマスコミにニュースで取り上げられて大問題になりました。

このレシートには署名(サイン)とカード番号の一部が記載されていたのでプライバシーの侵害に当たる可能性が高く、このことが発端としてカード犯罪に悪用される可能性も否定出来ない事案に

ゴトに勝つ 高石隆一

27

「誰がいつ」の来店情報は
最重要個人情報なのです

なりません。民事事件として損害賠償請求や慰謝料請求の対象となるそうですので、顧客情報の管理には十分に注意が必要です。

ホールでは、会員カードなどの顧客情報の取り扱いや有名人がプライベートで来店した際の対応はもろろんのことですが、常連のお客様であつても誰がいつ来店したという話は漏らさないのが基本です。特に勤務外の時間で同窓会や仲の良い友人との飲み会の席などで、お酒の勢いで安易に話すことのないように絶対に注意してください。

お客様の来店情報は、最重要個人情報になります！と、ゴト犯罪に関係の無い話題でスタートした今回の「ゴトに勝つ」ですが、モラルハザードはゴト事案にも関連する重要な案件だと考えておりますので、ネットの炎上事件からもうひとつだけ事例をお伝えしたいと思います。

タオルの穴でクレーム 土下座をさせネットに 実名も暴露の大騒ぎ

全国ニュースとしてとても大き

く扱われたのでご存知の方も多いと思いますが、衣料品チェーンの店員に対して土下座などを強要したとして、札幌東署に強要容疑で逮捕されたクレーム客の事件についてです。

弊社の近所で発生したこの事件のあらまは、次の通りです。女性客（クレーム客）が購入したタオルケットに穴があいていたとして、対応した店員に「返品のために費やした交通費と時間を返せ」などとクレームをつけて店員2人に土下座をさせたいえ、自宅に来て謝罪するように念書を書かせたというものです。しかも、このクレーム客は土下座する様子を携帯電話で撮影し、その写真を対応した店員の実名付きでツイッターに投稿したのです。

このツイッターの土下座写真が拡散されて騒ぎが大きくなりネット上で大炎上となったために、投稿者（クレーム客）はツイッターのアカウントを削除したものの、ネットユーザーにより過去のツイートに関してかなり口の悪いクレームであることが調べられ、最終的にはこのクレーム客の実名まで特定されてしまいました。

嫌がるのを無理強いは 強要罪になる可能性 例えゴト疑惑でも注意を

この事件は、今年のテレビドラマで最高視聴率を記録した連続ドラマの放送時期とリンクしており、このドラマの影響で「倍返し」とか「土下座しろ！」というフレーズもブームになりました。しかし、ドラマはフィクションであつて、現実社会で同様なことを実現するとそれは犯罪になるケースがあります。

今回の強要罪ですが、耳慣れない方も多いかもしれませんが、強要罪とは刑法第223条で「生命、身体、自由、名誉若しくは財産に對し害を加える旨を告知して脅迫し、又は暴行を用いて、人に義務のないことを行わせ、又は権利の行使を妨害した者は、3年以下の懲役に処する。」とあります。具体的に強要罪が成立するケースは、いわゆる「押し売り」とか「周囲を取り囲み謝罪文を書かせた」などがわかりやすい事例でしょう。相手が嫌がることを無理強いすることが強要罪に該当することにな

るので、ゴト師や他店玉メダル持ち込み犯、器物損壊犯などのホールで独自に捕まえた犯罪者への対応時に注意が必要になります。

温情で反省文書かせたら 逆に強要罪だと訴える 盗人猛々しいのだが

悪質な犯罪者を捕まえたのであれば、警察に通報して犯人を引き渡すのですが、これが少量のメダルの持ち込みで明らかに出来心での犯行であつた場合は、犯人を警察に突き出すのではなく、再犯することのないように諭して帰すという方法をとる心優しい役職者の方もいらっしゃいます。

この時に反省文や謝罪文を書かせているケースがありますが、これが強要罪になることもあるので注意が必要なのです。本来ならこちらは被害者で相手は加害者なのですが、無理に謝罪文を書かせると強要罪として、こちらが加害者で相手が被害者になってしまいます。

犯罪であれば、事件として被害届を出すか又は告訴するか、若しくは示談として処理するかになり

ます。警察に突き出すのはかわいそうだと温情をかけ、示談として処理するために反省文を書いてもらったら、強要罪だと訴えられたケースが私が万引きGメンだった時代に某スーパーマーケットでありました。

盗人猛々しいとはこのことで、人の温情をなんとも思わずに隙あれば立場を逆転させてくる凶々しい輩がいるのです。この某スーパーマーケットは、この事件以降、被害金額に関わらずにすべての万引き事犯を警察に突き出すことがルールになりました。

たとえ被害金額が1円でも、相手が3歳の幼児であっても絶対のルールになってしまったのです。この事案に関しては、私も複雑な思いでしたが、被害者である企業様が決める問題なので、どうすることも出来ませんでした。

この事例は極端なケースかもしれませんが、例外を作ることはマニュアルやルールが崩壊する元になるとの意見もありますので、徹底することが重要なことなのかもしれません。

ゴト犯罪や置引、玉メダル泥棒や器物損壊、車上荒らしなど、ホ

ールで発生する事件や事故は多種多様です。それらがいつ発生するかわかりませんので、イザという時に対応できるようにしっかりとした対応方法を予め検討しておき、マニュアルやルール化しているつでも誰でも対応できることが重要です。被害者が加害者になることが無いように注意してください。

「ジャグラー」で注意喚起 空気で部品回転させる 手動クレマンの進化系か

前号、前々号でお伝えした「アイムジャグラーAPEX」のクレジット上げゴト（クレ満クン）に関して、10月初旬にメーカーから注意喚起文が出されました。この注意喚起文には、すでに被害が多数出ている「アイムジャグラーAPEX」以外に、10月初旬の時点でまだ被害が確認されていない機種である「ハッピージャグラーV」、「浮浪雲」、「クリエーターMKII 30」、「MYジャグラー」、「テンションブラスター」、「ミラ

クルジャグラー」の6機種を設置している店舗についても注意喚起をお願いしたいというものでした。

これらの機種を設置されている店舗におかれましては、前号の「ゴトに勝つ」のページを参照して警戒して頂くよう宜しくお願い致します。

また、「アイムジャグラーAPEX」を狙ったクレジット上げゴトで新たなゴト器具が出回っているとの情報があります。器具の形状はこれまでのクレ満クンと同様ですが、電子部品を使ったこれまでのクレ満クンではなく、空気で部品を回転させることによりセレクトを誤認識させるという手動クレ満の進化系のようなものであるとのこと。詳細が判明すれば、次回のこの誌面でお伝えしたいと思います。

センサーの効かない アウト穴右を狙われる 「沖縄3」の磁石玉がかり

今年、ニューギン「CR花の慶次〜漢LeeV」において、磁石を使った新たなブドウゴト（玉掛かりゴト）の手口での被害が全国



磁石センサーの検知範囲外の箇所
に磁石を置いて玉掛かり(ブドウ)を作成



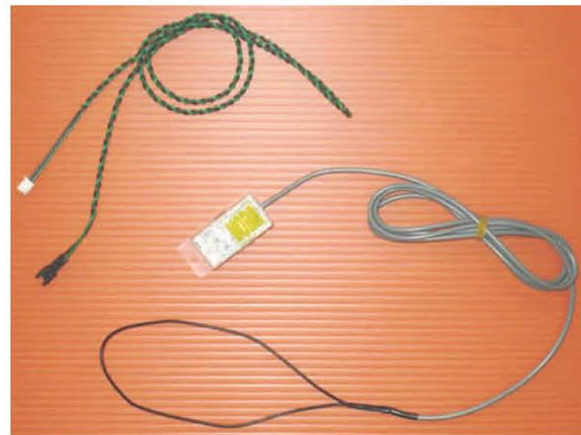
スタート右側に玉掛かり(ブドウ)が
できている様子

的に多発していることを何度かこの誌面でもお伝えしてきましたが、今現在も被害が続いている「CR花の慶次」漢「L-V」以外にも要注意被害機種が出現しました。

その機種とは三洋「CRスーパー海物語IN沖縄3」で、「CR花の慶次」漢」とほぼ同様の手口で犯行に及んでおります。手口は、盤面下部のアウト穴付近に磁石を置いて右打ちをして、スタートチャッカー付近まで玉を積み上げて大きな玉掛かりをつくった後に磁石を外して、スタート右側にだけブドウを残して、そのブドウを利用してスタートに大量の不正入賞をさせるというものです。

「CR花の慶次」漢」では、アウト穴の中央部に磁石をセットしているケースが多かったのですが、「CRスーパー海物語IN沖縄3」ではアウト穴より右側に磁石がセットされているケースが多いのです。「CRスーパー海物語IN沖縄3」は盤面のいたるところで磁石センサーが反応するのですが、残念なことにこのアウト穴右横付近にだけ、磁石センサーが反応しないゴト師にとって美味しいスイートスポットがあったのです。

電磁波センサー



「エヴァ」や「呪怨」など玉の積み上げ方にさまざまな手口が発生

「CRスーパー海物語IN沖縄3」の磁石ブドウゴトは、関東を中心に被害が拡大しております。設置店舗が多い機種でのゴト手口の場合は、日本全国で被害が多発する傾向にありますので、各店舗で十分な警戒をお願い致します。また、10月には東北エリアで、「CREヴァンゲリオン8R」で磁石を利用してアウト穴からスタート右まで玉を積み上げてスタート入賞を狙う手口や「CR呪怨FPF」では磁石を利用してアウト穴からアタッカー右横の一般入賞

口まで玉を積み上げて一般入賞口を狙う手口での被害が発生しており、多種多様な被害へ発展する兆しが伺われます。ホールコンのアラート設定の数値を今一度見直して、大当たりされる前に感知できる体制を整えておいてください。

店内徘徊しパチスロに電磁波を飛ばしているセンサー設置店調査か

スロットの電磁波ゴトに関して、不穏な動きが9月頃から全国のあちこちのホールで発生しております。それはスロットに向けて電磁波を試し打ちする怪しいグループの出没情報です。

この怪しいグループが電磁波を試し打ちしている機種は、山佐・サミー系・ユニバーサル系など様々ですが、店内を歩きながら電磁波を飛ばしているケースが多く、いずれも電磁波センサーが発報してすぐに逃走したとのことなので、電磁波センサーの発報が無ければそのまま犯行に及んでいた可能性もあります。状況的に考えて電磁波の試し打ちで電磁波センサーの設置状況を調べていたという線

が濃厚であると思われます。

過去の事例から考えると、スロット4号機時代には体感器センサーの設置店舗リストを捕まえたゴト師が所持していたこともあったので、今回も電磁波ゴトを行うための電磁波センサー設置店舗リストを作成しているかもしれません。スロットの電磁波ゴト被害には、今後ますますの注意が必要です。電磁波センサー設置店舗におかれましては、センサー設置状況の確認と感度チェックは確実に実施するようにお願い致します。

また、センサー発報時の対応方法の確認も忘れずをお願い致します。せっかく高い費用をかけて設置したセンサーが、人為的なミスで作動しなかったというのは、意外にも多いケースです。宝の持ち腐れでは、もったいないですよ！

■高石隆一 ■たかいしりゅういち

警備会社の指導員、セキュリティ会社を経て2003年、有限会社ジャパンセキュリティサービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。また、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。「二期会」が座右の銘。